

導入事例 10

本間社会保険労務士事務所

社会保険労務士業

所在地 ● 札幌市中央区北4条西17丁目1-10 グリーンヒルズ2階
電話番号 ● 011-616-8177
代表者 ● 本間 あづみ
従業員数 ● 6人
事業内容 ● 労務管理コンサルティング、労務監査(労務診断)、就業規則の作成・改訂、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、育児・介護・闘病との両立支援コンサルティング、労働・社会保険手続、給与計算アウトソーシング
U R L ● <http://www.honma-office.jp>



テレワーカー 業務サブリーダー
伊藤 やよいさん

育休明けの「リハビリ」として在宅勤務を利用

本間社会保険労務士事務所です事務を担当する伊藤やよいさんは、在宅勤務制度を利用することで、一度は覚悟した退職をすることなく働き続けることができました。

伊藤さんは3人目のお子さんを出産後、お子さんが重い病気を抱えていたために家庭との両立に不安を持ち、退職を考えたそうです。職場に相談したところ「まずは休んでみては」という提案を受け、育児休業を取得。2年が経つころにはお子さんの体調も良くなり、在宅勤務の形で復帰しました。伊藤さんは「仕事から完全に離れていたのが不安もありましたが、在宅勤務で『リハビリ』のように徐々に仕事に慣れることができました」と振

り返ります。

在宅勤務中は、個人情報扱わない業務を主として、自宅の家族の立ち入らない専用スペースで、PCのリモートデスクトップ(※1)機能を活用し、自宅のPCで職場のPCと同じような環境を実現し、働いていました。また、紙の資料は鍵付きのキャビネットに保管する、資料は使用后すぐにシュレッダーで破棄するといったルールをセキュリティ対策として徹底しました。現在はお子さんを保育園に預けての出勤に切り替え、短時間勤務をしています。



代表
本間 あづみさん

家庭との両立を目的に、社員の流出を防ぐ

労務管理の専門家として、企業経営のサポートを担う本間社会保険労務士事務所は、総務省の「テレワーク先駆者百選」に認定されるなど、その取り組みが注目されています。

代表の本間あづみさんは、社員にとっての家庭と仕事の両立を目的にテレワーク導入に積極的に取り組んできました。ご自身が母親でもある本間さんは「子育ての経験があるからこそわかることがあると思います。優秀な社員に働き続けてもらうために制度を整えてきました」と話します。

特に育児休業取得後の職場復帰について「スムーズにできればいいですが、子どもの預け先の問題などもあり、在宅勤務をいわば『リハビリ』として利用してもらっています」と話します。社員は全

員が女性で、出産、育児、夫の単身赴任など、女性特有のライフステージに合わせた柔軟な働き方を受け入れてきました。約2年前に始めた在宅制度は、これまでに3人の社員が利用しています。テレワーク導入にあたってはセキュリティ対策を重視し、UTM(※2)の導入や、鍵付きキャビネットの貸与などを行いました。ご自身も、お子さんの体調不良の時やプライベートの空き時間に、自宅や外出先で個人情報を含まない資料作りなどの仕事をこなします。テレワーク勤務制度について本間さんは「今後は介護の問題が出てくることもあると思います。そうした意味でも在宅の利便性をあげるよう、検討を重ねていく方針です」と、さらなる制度の充実化に意気込みます。

※1. リモートデスクトップ：手元のコンピューターからネットワークで接続された他のコンピューターのデスクトップ環境等を操作する技術

※2. UTM：コンピュータウイルスやハッキングなどの脅威からネットワークを守るため、複数の異なるセキュリティ機能を一つのハードウェアに統合し管理する手法